

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり 414

### 「シリーズ」 あなたの人権・わたしの人権

#### 「人の気持ちを考えて」

玖珠美山高校1年

秋好 乃亜

SNSがよく使われるこの時代、皆さんも分かっているとは思いますが、名前も顔も分からないからと軽い気持ちで放った悪意のある一言が、知らぬ間に他人を傷つけてしまうことがよくあります。

私は、よく誰かがつぶやいた悪口を見かけます。

私が最近見かけた悪口は、私の応援している大好きなグループへのものでした。

その内容は、「あいつら最近めっちゃ調子乗ってるよね。まじ死ね。」

そして、その投稿のコメント欄を見てみると、「それ俺も思った。」

と共感している人たちが「やばい笑」と、全く関係ない人たちが笑いのにして盛り上がったたりしていました。

私は、その様子を目の当たりにして最初に、「何でそういう言葉を言っちゃうんだろう。」

と思いましたが、それから、その投稿者の発言に怒りが湧きました。

その後、その人のこれまでの投稿を見てとても驚きました。

これまでの投稿の内容もすべて誰かの悪口だったからです。他の投稿にもほとんど「死ね」という言葉が入っていました。

私は思いました、「なんでそんな言葉を当たり前のように言えるんだろ。」と。

色々考えてみた結果、分かったことがあります。

それは、SNS等で簡単に思ったことを言えるような「今」になったことで、この言葉を使ったら誰かが傷つくのではないかと、一歩踏みとどまって考えることがなくなったのかもしれないということです。

さらに、匿名で発言できるようになったことで、もっと攻撃的な言葉を投げかけることができるようになっていきます。この状況はとてもよくないことだと思います。

私は、ニュースなどでSNSの言葉に傷ついて、自殺まで追い込まれた人を知りました。

悪口がどれだけ人を追い詰めるのか知ったので、日常生活の中で、あまりひどい言葉を発することがないように気を付けています。

私は、これ以上傷つく人を増やしたくありません。

悪口によって苦しんでいる人たちの気持ちを沢山の人に理解してもらえたら、SNSでの発言も変わるのではないかと思います。

私は、もし人を傷つけるような言葉を発している人がいたら「そんなこと言ったら傷つくと思うよ。」

と、注意できるような人になりたいです。

そして、みんなが人の気持ちを考えて、言葉を選ぶようになって、何気なく放った言葉で傷つく人を一人でもなくしたいと思います。

「イソップ物語」に子どもたちから石を投げられるカエルの話があります。

カエルは、「みなさんが遊び半分で投げる石で、私たちは命に関わるようなひどい目にあつたのです。」と、訴えます。しかし、いじめている当事者には、自分していることがいじめられる側には死にたくなるようなことだということがわからないのです。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理的や差別性について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

